

第15回あわら市子ども・子育て会議録

1 日 時：令和元年9月6日（金）19時15分～20時30分

2 場 所：あわら市役所 101会議室

3 出席者

(1) 委員

森俊之委員（会長）、浅野壽恵委員（副会長）、大家茂夫委員、
五十嵐美根子委員、先川原八千代委員、見澤幸治委員、八木しのぶ委員
坂井雅至委員、木谷眞知子委員、塚田美紀子委員
《欠席者》竹内浩美委員、

(2) 事務局

《子育て支援課》

中道佐和子課長、藤井恭代子育て支援GL、村中直子児童福祉GL、
井上堯之主事

4 議題

(1) 令和2年度 各認定こども園定員について

(2) 第2期あわら市子ども子育て支援事業計画（案）について

(3) 妊娠・出産あるいは育児休業を理由に子どもを預ける場合の取扱いについて

5 承認事項

☆令和2年度 各認定こども園定員について、第2期あわら市子ども・子育て支援事業計画の量の見込みについて、現時点での承認を得た。

会議の経過

○事務局 （開会あいさつ）

（会議の趣旨について説明）

○事務局 ここからは規定により、森会長に議事進行をお願いいたします。

○議長（会長）議題に従い、令和2年度 各認定こども園定員について、事務局より説明してください。

○事務局 **【資料に基づき説明】**

○大家委員 妊娠・出産あるいは育児休業を理由に子どもを預ける場合の取扱いについて、今回、議論して変更した場合、この定員には影

- 響しないのか。考慮されたうえでの定員ということか。
- 事務局 考慮したうえでの定員。取扱いの変更を理由としては増えることはなく、むしろ減少要因。幼児教育無償化による影響についても、元々あわら市は3歳以上のほぼ全員が入園しており定員には影響がないと考えている。
- 議長（会長）来年度も定員は別紙のとおり、変更なしという形で設定してよろしいか。
- 全員 異議なし。了承。
- 議長（会長）第2期あわら市子ども子育て支援事業計画（案）について、事務局より説明してください。
- 事務局 【資料に基づき説明】
- 先川原委員 基本理念からで申し訳ないが「若い世代が」とあるが、私自身も35歳を過ぎてから妊娠したりもしてこの「若い世代」という言葉に抵抗を感じる。何か、他の言葉におきかえができないだろうか。例えば「子育て世代が」という言葉などに。
- 事務局 委員の皆様のご意見で変更していきたい。
- 議長（会長）他の意見があれば。60歳までは若いと思っていたが。確かに若い世代だけでなくてもよい。例えばリタイアした世代が子育てをしてもよいし。「住み、生み、育てて」を若い世代に限定しなくてもいいかなと思う。
- 大家委員 「全ての世代が」とかの表現ならば、若いに限定されず、良いのではと思う。「すべての市民が」とか、みんなと言うような表現にするとよいのでは。今、うまく浮かばないが。
- 議長（会長）意見としては変更について賛成だが、どのような言葉がよいかわからないということ。
- 先川原委員 確かに、子ども子育て支援計画自体が、子育て世代に限定されたものではなく、おじいちゃんやおばあちゃんなど、子育てに関わる人々みんなに関係のあるものなので、対象を広げた言い方の方がよいと思う。
- 事務局 第1期計画と変わっているのは「幸せを実感できるまち」の部分だが、世代を広げた対象を主語に持ってきて多角的な計画案にするということも可能。
- 先川原委員 ちなみに「幸せを実感できるまち」という文言を加えたのはどういう経緯か。

- 事務局 総合振興計画に準ずるという形で、総合振興計画にそういった文言があったため。第1期と全く同じではいけないと思い、案として加えたもの。
- 議長（会長）個人的には「幸せを実感できる」というのはいいと思っている。
- 事務局 「若い世代が」という言葉を「子育てに関わる人が」に変更するのも問題ないと思われる。
- 議長（会長）今回、国のガイドラインで外国籍の子どもや外国語を母国語とする子どもに配慮するということが加わったが、実際、あわら市には外国籍の子どもは増えているのか。
- 事務局 少しずつ増えてきている状況。
- 議長（会長）というのは、世代だけでなく多様な人々がというニュアンスを加えた方がよいのではということ。
- 副会長 子育てに関する計画なので、市民全体のものではないので。「子育てに関わる人々が」と言うのがよいのではと思う。
- 事務局 次回会議で決定するという事で構わない。
- 議長（会長）では、この部分については、次回に持ち越しということ。
- 先川原委員 今、基本目標や施策の方向性については、子育ての家庭も含まれている形だが、気がかりなお子さんが増えてきたり、手がかかる子が増えてきている。保育士さんとか、学校の先生に対する支援も加えるべきではと思う。
- 事務局 基本目標というよりは、施策の方向性の部分で子育てしやすい地域環境づくりや子どもが健やかに育つ環境づくり、子育てと仕事の両立支援の部分で加えることができると思われる。
- 先川原委員 こども園や学校、子どもクラブで、福祉サービスに乗っかることができている子はいいとして、そこまで至っていない子のケアというのが必要だと思われる。そこに、先生や保育士がどうかかわっていけばよいかということを書くべきだと思う。悩んでいるケースがあると耳にするので。実際の現場としてはどうか。
- 大家委員 小学校でいうと経済的な理由や色々な理由で支援が必要な子供が見つかれば、外部機関につないでいる。子育て支援課につなぐことも多い。外部機関や子育て支援課、教育総務課へ問い合わせ「支援先はどこか」と聞く形となっている。小さい学校は、先生方の状況も把握しやすいが、大きい学校だとなかなか難しいと思う。支援が必要だとわかれば、動くと思う。でき

たらずばらしい施策をされているので、広報をもっとしていただければと思う。支援策が色々あるということを広めて行ってほしい。

○議 長（会長）今のご意見を受けて、広報はできると思う。また、先ほどの意見にあった、支援が必要な先生や保育士さんについてはどうか。

○事務局 子どもが健やかに育つ環境づくりの部分などに加えられないか、事務局で次回までに検討してお諮りしたい。

○議 長（会長）表現の部分で、データの集計をしたものを前回との比較をできる形でグラフなどに表記したらどうか。前回とほとんど変化がないというデータについても、見てわかるようにしてはどうかと。文言もそうだが、前回データと今回のデータを並べるなど。一目で見えるように表現をしてもらえると。やってみてぐちゃぐちゃにならない程度で。

○事務局 了承した。

○大家委員 最近、話題となっている児童虐待だが、少し記載があるが、具体的な予防策、対応策について、もう少し書いたらどうか。

○事務局 24 ページの部分。予防策や発見した場合に関係機関と連携することなどをもう少し盛り込み、児童相談所との関係性なども書くことは可能。虐待対応の中では親の支援も重点的に行っている。

○大家委員 しっかり対応している部分をもう少し書くとよいと思う。

○事務局 もう少し詳細に記載することについて了承した。

○議 長（会長）量の見込みについて、定員 990 人になっているのは。

○事務局 出生数は減っているが、保育のニーズは上がっている。そのような中で、ニーズの見込みを劇的に増やすほどではないので、定員はそのままを見込んでいる。

○議 長（会長）了承した。

○議 長（会長）協議事項の 3 点目について、妊娠・出産あるいは育児休業を理由に子どもを預ける場合の取扱いについて、事務局から説明を求めます。

○事務局 **【資料に基づき説明】**

○大家委員 産後 1 年半という半がついた理由は。

○事務局 現行では一番長い人だと 4 月生まれの子の場合、2 年近く預けることができる。一方で 3 月生まれは極端に短い。園長会議等での意見集約の際、1 年だとちょっと短いのではという意見が

多かったため。

- 木谷委員 今では満1歳になった年度の年度末までだが、今回の改正で短くなる予定。預けられている子どもがかわいそうだと思うのは、標準時間というところで、母が育児休業中で赤ちゃんを家にいて、上の子を6時近くまで迎えに来ないというのがある。保護者にとっては、ゆったりと赤ちゃんに関わっていいのかもしれないが、預けられる上の子は家にいる母が迎えに来ないのは辛いと思う。もし、この案のように変更になれば、子どももとても嬉しいと思う。
- 議長（会長）年度末というのを見落とししていた。
- 先川原委員 到達の管理はというのは、どういうことか。
- 事務局 園に預けるタイミングで確定した出産日などを園の方が先に把握できるので、その辺の情報をあげてもらいたいということ。全てを子育て支援課で把握するのは難しいということ。
- 五十嵐委員 この会議を受けて、来週の管理会で報告するという事になっている。1年半ということだが、上の子が3歳になっていない場合、再度入園する必要があるということを保護者に対してしっかりアナウンスする必要がある。具体的には年子のお子さんかなと思うが、その時に一時預かりも困ったときには利用できますよとか、色々な情報が的確に保護者に伝わるといいと思う。2か月くらい、間が開く子はいると思われるので。
- 議長（会長）産後、どれだけ設定しても誰かはそのようなことになる。
- 五十嵐委員 わかりづらい感じに思う保護者もいるのではと思う。
- 議長（会長）この会議においては、案のとおりと承認することよろしいか。
- 全員 異議なし。
- 議長（会長）その他で何かないか。
- 大家委員 話しは戻るが「若い世代が」を「誰もが」にするとよいのでは。
- 事務局 次回、何案か示す。
- 議長（会長）ニーズ調査の結果は公開するのか。
- 事務局 自由記述を除いて、子ども子育て会議の会議資料として公開する。
- 議長（会長）自由記述の中には「すでにやっていること」についての要望めいた記載が多い。その場合、Q&Aのような形で、やっている施策について周知を図っていただけたいと思う。
- 事務局 ホームページや子育てアプリの充実を図る中で考慮していき

たい。

- 議長（会長）他になければ、これで終了としたい。
- 事務局 次回日程について調整。11月1日（金）19：15～の予定。
- 委員全員 了承。
- 事務局 （閉会あいさつ）